

いのち輝くいつせの里

前山小学校 校長日より

令和5年8月20日

文責 植木政行

『前山小学校の思い出』 中井隆文

植木校長先生から「前山小学校での思い出を」と原稿依頼を受けた時、私は「本当の事を書いて良いんですか」と即座にお答えしました。そしてしばらく間をおき、お互いに目を合わせて大笑いをしました。

私は昭和63年度に入学しその年度中に新元号の平成に変わりました。高学年時には週休二日制が月1ではじまった、昭和平成ゆとりのミックス世代です。当時、新任植木先生は担任ではありませんでしたが、所属していた少年野球ではコーチ、また学内のクラブ活動では創部間もないローラースケート部で顧問をして頂いていました。そんな事もあり、よく覚えて頂いていたのでしょうか…いや、私はよく覚えていました。色々な事が頭に浮かび、二人で笑うしかありませんでした…

さて、私の前山小学校の思い出と言えば、市島町内の小学校が集結する水泳大会を思い出します。その中で、クロールと平泳ぎで各4名の選手が選出され、学校対決をするという25m×4

のリレーがありました。私の同級生は22名のうち男子は9名でした。行われた選手選考で私はどちらの泳法でも5番目となり、花形種目のリレーに、他の男子はどちらかの泳法で出場したのに私だけが兩種目とも補欠でした。選出から外れた私に担任の先生が「どちらにも出場する可能性があるのはたかちゃんだけだ」と慰められました。少年時代の私には今まで哀愁の思い出として残っていました。

しかし今夏、PTA役員として「前山小学校プールでの思い出に」と実施した閉校イベント「前山リゾート」が数々のご協力を得て大成功を取ることができました。子供たちのほじける笑顔のおかげで、私の「前山小学校プールと言えば」の思い出は30年の時を経て「前山リゾート」に塗り替える事が出来ました。この思い出は参加してくれた子供はじめ関わって下さった方々と一緒に生涯の思い出として共有していけたらと思っています。

今、私は今中に住んでいますが実家は鴨阪です。前山の一番奥でしたがカップラーメンの自動販売機が設置されていた事を誇りに思っていました。谷上には「まんじやさん」「さとうさん」、矢代には「おおしたさん」、八日市には「たばこやさん」、今中には「いちばん街」の商店がありました。旧郵便局横にはそろばん塾があり中学まで通いました。谷上には書道教室、鴨阪と宮ノ下には公文がありました。八日市の散髪屋さんの旧店舗には大きな水槽が置いてあり、矢代にあったタイヤの恐竜は妙にリアルでした。谷上の時計台は遊ぶ時の待ち合わせ場所でした。木造で2階建ての保育園は駐在所の横にありました。大杉には釣り具屋があり大杉ダムで行われたワカサギ釣り大会で入賞した時には釣竿を貰いました。折杉神社では奉納相撲があり土俵にまかれた懸賞金を奪い合いました。五台山祭りでは狸穴の名水と山の傾斜を活用した流しそうめんが美味しかったです。夏は家庭バレーが夜の校庭であり照明に集まるカブトムシを夢中で探しました。

私の知るこの3～40年ですら前山は姿を大きく変えています。そして今年度をもって地域のシンボルである前山小学校は閉校となります。しかし、これをきっかけに新たな「地域づくり」について、子供の事も地域の事も多世代間で一緒に考えていけるようになればと感じています。

今回「大人の自由研究」の宿題を頂いたような気持ちで振り返りを楽しくさせて頂きました。ひとつひとつ大切な思い出として頭の片隅にしまってありました。ひょっとすると一生引き出すことのない思い出もあったかも知れません。本当に大変貴重な機会を頂きありがとうございました。ぜひ皆さまも前山の思い出を沢山の方と話し合ってみてください。これまでの前山を敬い今後の前山を守り育てていく力がきっと湧いてきます！ありがとうございます！前山小学校



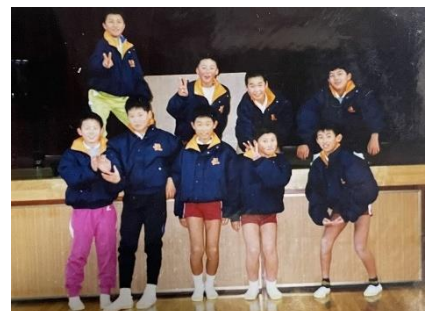
ローラースケート部の集合写真
左が植木校長 右から3番目が私



当時のプール掃除
今よりも随分と大きく見えます。



完成直後の体育館と私



同級生でBOSSジャンを揃えました。

『私の原点、前山小学校』 荻野幸広

物心ついた頃には、私の入学する小学校と言えば当然「前山小学校」でした。

そんな当たり前な前山小学校について特別な思いはありませんでしたが、今回この様な機会を頂き、様々な出来事や行事を思い出していくうち、気がつけば次々と頭の中で懐かしさが込み上げてきました。

お世話になった先生方、ともに6年間を過ごした同級生、先輩、後輩、また地域の保護者の方々との日々の思い出を改めて思い返すと数えきれません。

登下校の道すがら360度山に囲まれた前山で、至極当たり前に目にしていた四季折々の木々。道端に咲き誇る小さな花を摘みながら田んぼで鳴くカエルの声を聞き、時にはいきなりのヘビ出現に驚き、猛スピードで走り去ったことも(笑)

当時の連絡手段は、固定電話しかない時代です。口約束し、片道約2km下校してから、自転車にまたがり、17時までの2時間程度、友達と遊ぶ為に全力だったことを思うと、小学生だった自分が、なんと一途で可愛らしかったことかと、胸がいっぱいになりました。

そんな私にとって、前山小学校の思い出と言えば、縦長の旧校舎での6年間です。

1年生、黒いピカピカのランドセルを背負い、初めての勉強。頭を打って出来た大きなたんこぶ。

2年生、校舎を走り回り、怒られてばかり。必死に覚えた九九。

3年生、友達とケンカをして先生に諭されて仲直り。

低学年の頃は、お兄さん、お姉さんに頼りながら過ごす日々でした。縦長校舎の廊下のふき掃除は、途中で休みながらも友達と競争していたことも覚えています。そんな廊下拭き掃除も高学年になると休まず一気拭きが出来るようになっていました。

4年生、高学年を意識し、5・6年生に助けられながら低学年の面倒をみるようになりました。

5年生、自然学校では初めて親と離れ、様々な経験とたくさんの出会いがありました。

6年生、運動会の応援合戦では、応援団長としてみんなと共に協力し、やりきった達成感や喜びを経験しました。総合優勝こそ逃したものの、応援合戦で勝てた喜びで、うれしさのあまり感極まって思わず涙したことなど。思い起こせば、数多の懐かしい出来事が鮮明に脳裏によみがえってきます。

親、そして私が卒業し、今我が子が通っている母校、「前山小学校」が今年度限りで閉校するという事は正直寂しく、出来ることなら現在小学4年生の長女だけでも、卒業してほしかったのですが、これも時代の流れなのでしょう。

「平穩、時々刺激的」で楽しかった学校生活も、豊かな四季の移ろいと共に、あれよあれよという間に6年が経ち、母校を巣立って24年・・・。

いわゆる「おっさん」世代となった私です。

今までも、そしてこれからもここ「ふるさと前山」で、私らしく暮らしてゆきたいと心から思います。私を育ててくれた前山に感謝の心を忘れることなく生きていきます。

「ありがとう前山小学校！ありがとう素晴らしきふるさと前山！」



折衫神社での奉納相撲



前山小学校 修学旅行記念 於 東大寺 平成10年4月23日

奈良公園で記念写真



団長として応援合戦で勝利